

# 令和4年度 社会福祉法人 聖マリア会 事業計画

## 1. 基本方針

国においては、団塊の世代がすべて75歳以上に達することで、医療費、介護費がより一層増大する「2025年問題」を直近の課題として、令和7年（2025年）を見据えて「地域包括ケアシステム」の構築等の対応を進めています。

これに加えて近年では、令和22年（2040年）には、団塊ジュニア世代が65歳以上になり高齢者の人口がピークとなることで労働人口が減少して労働力不足が深刻になるだけでなく年金、医療、介護などの社会保障費も増大することが予想される「2040年問題」がクローズアップされ大きな社会問題となり高齢者を支える現役世代が急減する「少子高齢・人口減少社会」への対応が強く求められています。

さらに、新型コロナウイルス感染症は全世界に感染拡大し日本でも感染者数の増加と減少を繰り返し、最近ではオミクロン株に対する危機が世界中に広がっており収束の兆しが見えてないのが現状です。

また、コロナ禍を契機にテレワークの実践など業務実施方法をデジタル技術の活用により見直す必要性も認識されました。福祉、介護業界では、ICT（情報通信技術）化はかねてから大きな課題とされていましたが、コロナ禍でICTを活用した感染予防対策、介護現場での間接業務のICT化など様々な取り組みがなされるなど、これまで遅々として進展しなかった働き方改革が一気に動き出しています。

また、令和3年度介護報酬改定により「自立支援・重度化防止の取組の推進」を図るため、中でもサービスをできるだけ科学的に評価するための情報システムの活用として「LIFE」（科学的介護情報システム）の運用が開始されました。

昨年度に引き続き本年度もより質の高いサービス提供を推進するため科学的介護への取組みを積極的に進めていきます。また、「介護人材の確保・介護現場の革新」を図るためICT（情報通信技術）や介護ロボット等のテクノロジーの活用が期待されています。

令和3年度に愛媛県の「介護ロボット導入支援事業」の補助を受け一部整備を図りましたが今年度以降も業務負担の軽減や業務の効率化に取組み、働きやすい職場環境の整備を図り生産性の向上に結びつけていきたいと思っております。

事業運営面では、通所事業の（介護予防）認知症対応型通所介護事業の利用者の減少と職員配置の非効率のため事業を休止し、令和4年4月1日より、地域密着型通所介護事業に集約し、以前より要望の多い土曜日のサービス実施とサービス提供

時間を（10時～15時30分→9時30分～16時）に変更し事業を実施いたします。

また、財務面では築23年を経過した建物設備等の修繕、更新に順次多額の経費が見込まれますが、法人の敷地内に土地賃貸契約を結び駐車場として使用している土地（933.49㎡）がありますが、法人の事業の用に供する土地として必要不可欠なものであるため土地を取得（買取価格2,750万円）し基本財産に組み入れるための予算を計上しています。

社会福祉法人が地域の資源として機能し、地域の信頼を得られるように事業運営を計画的、効率的に行い透明性の高い財務管理に努め法令等遵守を徹底して以下の事業を推進していきます。

## 2. 経営理念

- （1）利用者の意思、人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供する。
- （2）利用者の持つ能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援する。
- （3）利用者や家族が安心して生活できるよう支援する。
- （4）地域住民やボランティアとの連携・協力を深めるとともに地域の福祉サービスの拠点を目指す。

## 3. 稼働目標

	（利用定員）	（稼働率）
（1）特別養護老人ホーム	58名	95%
（2）ショートステイ事業	9名	50%
（3）デイサービス事業		
ア．地域密着型	18名	90%
イ．認知症対応型	12名	（休止）
（4）ケアハウス	30名	80%

## 4. 施設運営

### （1）特別養護老人ホーム

入所系施設と在宅サービスの連携が進み特養の入所待機者は減少しています。在宅での生活が困難になった方が安心してみどりの郷に入所し尊厳ある生活が継続

できるよう一人ひとりの思いに寄り添った質の高いケアを提供していきます。

その為に令和2年度から導入している介護ロボットを使用したノーリフティングケアを実践し入所者にも職員にも安全な技術を確立していきます。

令和3年度にはICT（情報通信技術）と新たな介護ロボットである見守り機器を導入しました。今年度は介護現場でこれらの機器を使い、さらなる介護の質の向上に繋げ「少子高齢・人口減少社会」に通用する組織作りを進めてまいります。

#### 強 化

- ① 思いに寄り添った個別ケアの提供
- ② 看取りケアの実現
- ③ ノーリフティングケアに基づく専門性の高い知識と技術で生活援助
- ④ ICT、介護ロボット、LIFE を活用した現場の革新

#### 継 続

- ① 楽しみのある食生活や余暇活動の提供
- ② 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止
- ③ 虐待及び身体拘束を発生させない体制
- ④ 災害及び感染対策に強い体制

## (2) 短期入所（ショートステイ）事業

在宅で生活される利用者が、施設の中でも可能な限り自らの生活習慣を変えることなく、尊厳的、自立的な日常生活が安心して送れるようチームで連携して支援します。また、ご家族が必要時あるいは一時的な休息をとることにより、より良い在宅生活が継続できることを目的とします。

#### 強 化

- ① 思いに寄り添った個別ケアの提供
  - ・不慣れな環境で安心して生活を送ることができるよう、思いに寄り添った援助で信頼関係を築き、利用者の心身に合った安全で快適な生活を支援する
- ② 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止
  - ・介護事故を未然に防止できるよう、個人の心身状態に沿った環境整備とケア援助を行う

- ・介護事故や疾病が発生した場合の早期対応を含めたリスクマネジメントの充実を図る

#### 継 続

- ① ご家族、他機関と情報を共有し、意思や意向に沿った柔軟なサービスの提供
- ② 在宅生活を継続するための身体機能の維持活用
- ③ 不適切ケアを改善し、尊厳のある援助と虐待を発生させない体制
- ④ 災害や感染症対策に強い体制

### (3) 地域密着型デイサービス事業

社会福祉法人聖マリア会の理念に基づき、利用者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した生活または介護サービスを受けながら生活できるよう支援します。

令和4年4月からデイサービス事業を統合し、18名定員の地域密着型デイサービスとして新たにスタートします。以前から要望が多かった土曜日の営業を開始し、提供時間を9:30～16:00と1時間延長します。今まで以上に必要な支援及び機能訓練やレクリエーションなどの高齢者同士の交流を設け、心身機能の維持及びご家族の介護負担の軽減を図ります。利用者がデイサービスを利用することにより社会参加ができることを目指します。

#### 強 化

- ① 日常的に感染症予防対策を徹底し、施設に持ち込まないよう細心の注意を払う
- ② 事業変更に伴い、今まで以上に利用者・ご家族のニーズに応えられるよう努める
- ③ 職員一人ひとりが責任感・やりがいを持って働ける環境をつくる

#### 継 続

- ① 利用者の身体的・精神的特徴を考慮した上での個人の健康状態の把握・対応
- ② 他事業所やケアマネージャーとの連携を強化し、利用者増に努める
- ③ 利用者の生活歴や現在の状況などのアセスメントを強化し、生きがいを持てるよう支援する

#### (4) ケアハウス

入居者の高齢化や要介護者の増加により、従来どおりの生活が困難になり、援助の必要な方が増えてきています。ご家族や支援事業所と連携を取りながら、その方々に合った医療や介護サービスを提案し、安定した生活の維持ができるよう尽力いたします。

入居者が明るく穏やかに生活していける環境づくりのため、個々への気配りや声掛けを行うことで、ニーズの把握やトラブルへの対応を速やかかつ適切に対処できるよう努めてまいります。

#### 強 化

- ① 入居者の心身の状態の把握
- ② 入居者の自己決定や尊厳を守り、その方に合ったサービスの情報提供と提案
- ③ 感染症対策等、わかりやすく正確な情報の発信
- ④ 設備の点検やメンテナンスを行い、故障修理を速やかに行うことで、中長期的な保全を図る
- ⑤ 支援事業所等との連携で、新規入所者を増やす

#### 継 続

- ① 入居者にとって生活の場にふさわしい、過ごしやすい環境を整備する
- ② 非常災害及び感染症等の拡大時に利用者の安全を守ることができるよう努める
- ③ 健康状態が損なわれた時に、速やかに関連先と連携し、早期治療ができるよう援助する
- ④ コスト意識を高め、経費節減に努める

#### 5. 地域社会との連携

- (1) 各種行事を通じて、入所者の家族や地域との連携を図り、地域の中心施設としての役割を果たす。
  - 富田保育所、富田小学校との交流
  - みどりの郷夏祭りの実施（7月下旬）
- (2) ボランティアや介護実習生の積極的な受け入れ、地域福祉の推進に努める。
  - ボランティアの受け入れ
  - 実習生、介護等体験の受け入れ

○ 中学校での福祉体験学習への講師派遣

(3) 富田総ぐるみこどもまもり隊への参加により、地域との関わりを強化する。

(4) 他地区災害時の応援、福祉避難所の機能強化、地区の防災意識の維持向上等に努める。

## 6. 職員関係

### (1) 職員配置状況

4.4.1

#### ① 特別養護老人ホーム（短期入所含む）

	職 種	現員	摘 要
1	施設長(管理者)	1	常勤、ケアハウス、デイサービス兼務
2	業 務 課 長	1	常勤、介護支援専門員と兼務
3	生 活 相 談 員	1	常勤
4	看 護 職 員	6	常勤 4 名、非常勤 2 名
5	機能訓練指導員	2	常勤
6	介護支援専門員	2 (1)	常勤、業務課長と兼務 1 名 非常勤、介護職員と兼務 2 名
7	介 護 職 員	28 (2)	常勤専任 23 名、非常勤 5 名 非常勤、介護支援専門員と兼務 2 名
8	管 理 栄 養 士	1	常勤、ケアハウス、デイサービス兼務
9	栄 養 士	1	常勤、調理員と兼務 1 名
10	調 理 員	4 (1)	常勤 3 名、非常勤 1 名 常勤、栄養士と兼務 1 名
11	事 務 員	2	常勤
12	用 務 員	4	常勤 1 名、非常勤 3 名
計		53 名（正職 35、嘱託 1、パート 17）	

② デイサービス（地域密着型）

	職 種	現員	摘 要
1	管 理 者	(1)	兼務
2	生 活 相 談 員	2	常勤
3	機 能 訓 練 指 導 員	(1)	非常勤、看護職員と兼務 1 名
3	看 護 職 員	1	非常勤、機能訓練指導員と兼務 1 名
4	介 護 職 員	4 (1)	常勤 常勤、運転手、用務員と兼務 1 名
5	運 転 手	1	常勤、介護職員、用務員と兼務 1 名
6	用 務 員	1 (1)	非常勤 常勤、介護職員、運転手と兼務 1 名
計		9 名	(正職 6、パート 3)

③ ケアハウス

	職 種	現員	摘 要
1	施 設 長	(1)	兼務
2	事 務 員	1	常勤
3	生 活 相 談 員	1	常勤
4	介 護 職 員	1	常勤
5	調 理 員	1	常勤
計		4 名	(正職 4)

全部門 合計 66 名

内

正 規 職 員	45 名
嘱 託 職 員	1 名
パ ー ト タ イ ム 職 員	20 名

(2) 各種会議・委員会の開催

	会議名	目的	対象者	開催状況
1	運営会議	業績向上にむけた連携	施設長他各部門代表 10名	2月に1回
2	BCP 運用会議	緊急時の事業継続計画の具体的な運用	施設長他各部門代表 10名	2月に1回
3	特養職員会議	業務推進 処遇方法検討 研修報告	処遇関係職員全員 30名	随時
4	特養入所検討委員会	入所判定会議	施設長、生活相談員、 看護職員、介護職員、ケアマネ、 第三者委員(2名) 7名	3月に1回
5	デイ運営推進会議	事業運営の透明性 地域との連携確保	管理者、生活相談員、 利用者家族、民生委員、 市職員、包括支援センター職員	半年に1回
6	デイ職員会議	業務推進 処遇方法検討 研修報告	生活相談員、看護職員、介護職員	書面会議
7	各種委員会	業務推進	特別養護老人ホーム関係職員	
	○ 虐待防止	虐待防止	施設長、介護職員等 9名	3月に1回 随時
	○ 身体拘束廃止	身体拘束廃止	施設長、介護職員等 9名	3月に1回 随時
	○ 事故発生防止	介護事故の防止 早期対応・再発防止	施設長、生活相談員等 10名 (デイ・ケアハウス合同)	3月に1回 随時
	○ 褥瘡対策	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員等 10名	3月に1回
	○ 感染症対策	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員等 13名 (デイ・ケアハウス合同)	3月に1回 随時
	○ 医療的ケア対策	専門性の高い 生活援助	施設長、看護職員、 介護職員等 8名	2月に1回 随時
	○ 食 事	楽しみのある食生活	栄養士、調理員、介護職員、 看護職員 4名	毎月1回
	○ ショートステイ	地域との連携	生活相談員、看護職員、 介護職員、ケアマネ 4名	毎月1回
	○ 接 遇	尊厳のある生活の提供 認知症ケア	生活相談員、看護職員、 介護職員等 10名 (デイ、ケアハウス合同)	毎月1回

### (3) 職員研修の実施

#### ① 研修目的

- 教育研修を通じて職員一人一人の能力開発を図り、施設全体のレベルアップを目指す。
- 職員の専門性の向上を図る意味で外部の研修に参加させ、思考を柔軟にし、職場の活性化を方向づける。
- 研修を通じ、他職種との協働体制の確立を目指す。
- 職員の「人間性」・「人間関係力」・「チーム力」・「職場の安全と効率化意識」を高め、人間的魅力と主体性のある福祉人として成長することにより、法人がめざす地域福祉サービスに貢献することを目的とする。

#### ② 外部研修会への参加（オンライン研修を含む）

- 老人福祉施設協議会（全国、四国、愛媛県、東予地区）主催の研修会
- 愛媛県社会福祉協議会、愛媛県在宅介護研修センター主催の研修会
- 社会福祉施設経営者協議会（全国、四国、愛媛県）主催の研修会
- その他医療・福祉団体等主催の研修会

#### ③ 内部研修の実施

- 新規採用職員を対象に初任者研修
- 利用者の処遇向上の為の実務研修（口腔ケア、排泄援助、ポジショニング、ノーリフト、ICT）
- 一般職員を対象に人間力・現場対応力向上研修
- ネット配信を利用した専門性の高いフォローアップ研修会

### 7. 設備更新、備品購入計画

① ケアハウス居室用エアコン（3台）	363千円
② 電動ベッド（2台）	395千円
③ チルド式車いす（2台）	222千円
④ 移動式通信カラオケ	990千円
⑤ マッサージチェア	176千円